

あーばんとーく

Kobe UrbanTalk

- 空から見た震災復興写真展 開催 ほか(P.1)
 - 平成23年度こうべまちづくり学校 専修講座 閉幕
いのちをまもる・地域でまもる“減災”まちづくりを開催しました!(P.2)
 - 神戸のまちづくり 昨日、今日、明日 その2(P.3)
 - 「第1回 神戸市都市デザイン賞」が決定しました!(P.4)
- 発行：こうべまちづくりセンター
バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

空から見た震災復興写真展 開催！！

神戸市では、阪神・淡路大震災からの大規模被災地の復興を図るため、震災復興の土地区画整理事業と市街地再開発事業に取り組みました。

震災の教訓をいかした、安全・安心なまちづくりを目指して、都市の基盤となる幹線道路や都市公園を整備し、併せて、地域の中的生活道路やポケットパークなどの生活基盤や、非常時には初期消火及び生活用水となる「せせらぎ」等を整備しました。また、限られた土地を有効活用するために、「共同建替」による住宅の再建も促進してきました。

また、協働のまちづくりを推進するため、まちづくり協議会の組織化や、コンサルタント等のまちづくり専門家の派遣などにより、地域の皆さんがまちづくりの提案をまとめることができるよう支援してきました。

土地区画整理事業は、事業開始から16年後の平成

23年3月に新長田駅北地区の換地処分を行い、これですべての事業が完了しました。

市街地再開発事業は、2地区のうち、六甲道駅南地区は完了し、施行中の新長田駅南地区についても、現在、31棟のビルが完成し、今後も民間の知恵や資本を導入する特定建築者制度を活用するなど、順次ビル建設を行う予定です。

このたび、これらの震災復興事業の歩みとともにまちの復興の過程と現在の様子をご紹介します「空から見た震災復興写真展」を1月5日(木)～24日(火)まで開催いたします。写真展では、震災復興事業を行った市街地を5つに区分し、それぞれの「震災前」、「震災直後」、「現在」の航空写真を大型のパネルにして展示します。航空写真では、道路や公園の整備や建物再建の状況などをご覧いただくことができます。

(神戸市都市計画総局市街地整備課)

空から見た震災復興写真展

開催期間：平成24年1月5日(木)～24日(火)
午前9：30～午後6：00 ※水曜休館

場 所：こうべまちづくり会館1階

パネル掲載地区：森南第一地区・森南第二地区・森南第三地区／六甲道駅北地区・六甲道駅西地区／六甲道駅南地区／松本地区／御菅東地区・御菅西地区／新長田駅北地区・鷹取東第一地区・鷹取東第二地区・新長田駅南地区



震災直後の
新長田駅北・鷹取東第2地区



現在の
新長田駅北・鷹取東第2地区

こちらも是非お越しください

☛ 震災復興企画展

「阪神・淡路大震災からの復興のあゆみ」 —神戸の復興まちづくり—

開催期間：1月31日(火)～2月6日(月)
午前8：45～午後6：00

※ただし土・日・祝日は午前10：00から

場 所：神戸市役所 1号館2階
「市民ギャラリー」

本企画展では、神戸市が取り組んできた「震災復興土地区画整理事業」と「震災復興市街地再開発事業」の二つの手法の復興まちづくりについて、震災当初のまちの状況から、取り組み方法や事業の経過、整備されたまちの様子などを総括的に取りまとめてご紹介します。震災復興の記憶の風化を防ぎ、また、東日本大震災や今後も予想される各地での災害からの復興に少しでも役立つものになれば幸いです。

みなさまのお越しをお待ちしています。

こうべまちづくり学校
特別講座

地域の防災力・減災力を高めよう!! ～公助・共助・自助のあいかたを考える～
2月4日(土) 午後2時～4時30分 まちづくり会館2階ホールにて 詳細はホームページをご覧ください。

平成23年度こうべまちづくり学校 専修講座 閉幕

こうべまちづくり学校には、まちづくりの基本を学ぶ基礎講座、まちづくりの実践的な知識・ノウハウ等を学ぶ専修講座など、まちづくりに関心を持ち始めた方から実際にまちづくり活動している方まで幅広くご参加いただける多様な講座があります。今年度の専修講座(平成23年9月～11月)は、ファシリテーション、防災、防犯、景観、まちづくり、まち歩き、土木施設探訪の全7コースに、延べ92人のご参加をいただきました。

今年度は、東日本大震災を始めとする大規模災害の発生により、安全安心のまちづくりや防災・減災への取り組みなどを学ぶ「防災」のコースへの関心が高まり、被災地の状況と支援活動、今後の神戸の取り組み、災害時の意思決定におけるジレンマなどについて活発な質問や発表が見られました。

また、神戸市まちづくり条例制定30年をテーマに、阪神・淡路大震災からの復興まちづくり、地域におけるルールづくりとその運用、密集市街地の課題と改善に向けた取り組みなど、地域の活動事例を紹介した「まちづくり」「まち歩き」のコースの実践的な講義も大変好評でした。

平成24年度こうべまちづくり学校基礎講座の募集が、来月から始まります。神戸のまちの歴史、まち歩き、ワークショップなど、まちづくりの基礎を楽しく学べる講座です。まちづくりに関心のある方、これからまちづくりに参加したいと思っている方はぜひご参加ください。詳しくは、来月のあーばんとーく2月号、あじさい市民大学春号(2月頃発行)をご覧ください。



まち歩き(東垂水地区)

三都連携シンポジウム

いのちをまもる・地域でまもる“減災”まちづくりを開催しました!

神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”では、京阪神3都市のセンター(大阪市立住まい情報センター、京都市景観・まちづくりセンター)と(社)日本建築学会と連携した事業を行っています。

一昨年からは、「水と住まい・まちづくり(2009年/大阪)」、「地域の個性を活かした住まい・まちづくり(2010年/京都)」をテーマにシンポジウムを開催し、各センターだけでなく、各都市の市民レベルでの交流も図ってきました。

そして、2011年。東日本大震災だけでなく、豪雨被害など、大規模な自然災害が頻発したこの年、地域で備えるまちづくりの知恵を交換するため、昨年12月3日、阪神・淡路大震災を経験した神戸(こうべまちづくり会館)に三都の市民が集いました。

第1部の事例報告とパネルディスカッションでは、神戸の新在家まちづくり委員会の加藤副会長から、津波で浸水すると想定されている地域にも関わらず、国道43号線等に囲まれ避難が難しい現状や、自主避難を前提とした対策を講じるための現在の活動についての報告、大阪の今里連合振興町会の岡本副会長からは、地域防災会議が行っている防災マップの作成や助け合いカード、夜間防災訓練などの活

動についての報告、また、京都の春日住民福祉協議会の西川副会長からは、福祉防災地図や高齢者の見守り、多世代の交流事業など多岐にわたる活動についての報告がありました。

第2部では、各都市の報告者を囲んでグループにわかれ、参加者も交えたグループディスカッションを行いました。それぞれのグループで活発な質疑や意見が出され、30分ずつ2回のグループワークでは時間が足りないほど、とても充実した内容でした。

参加者の方からは、それぞれの地域での充実した取り組みに対する驚きの声とともに、自分たちの命は自分たちで守らなければならないことを改めて実感した、との感想が寄せられました。

日頃からの地域活動が、“減災”につながることを再認識していただけたのではないのでしょうか。

ご参加&ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。

(神戸市すまいの安心支援センター)



当日の会場の様子

神戸のまちづくり 昨日、今日、明日

ーまちづくり条例制定 30 年を迎えてー

その2

神戸市都市計画総局まち再生推進課 主幹 谷中 俊宣

○受け継がれる協働と参画のまちづくり

条例に基づきまちづくり協定は、現在、16地区において締結されています。各地で取り込まれている様々なまちづくりについて、昨年12月の企画展に頂いたメッセージを通じて、いくつかご紹介いたします。



灘区の臨海部に位置する「大石南町地区」では、平成13年に「伝統を生かし、住商工が共生する下町づくり」を目標とした協定を締結しました。現在、大石南町まちづくり協議会では、東日本大震災を契機に、地震・津波に対する備えの必要性を改めて認識され、避難計画等を主体となって検討されているところです。同協議会の大野会長は、「地域住民の高齢化が進行する中、まちづくりには若い人々の力が必要である」と感じ、活動参加の場づくりにも取り組まれています。

西区の開発団地である、桜が丘地区では、「緑ゆたかでゆったりと落ち着いたまち」を目指して、平成21年に協定を締結しました。当地区は、団地周辺の宅地開発を発端として、桜ヶ丘地域協定委員会が立ち上げられました。同委員会の山崎副委員長は、方針を決めるまでに「大荒れの委員会が何回も続いた」、「大変な時間と労力を要した作業であったが、この過程のなかで住民の団結が強まり、地域をみんなで守ろうという自覚と意識が強まった」と記されています。

メッセージにはまちづくり活動に対する地域の方々の熱い思いも溢れています。「自分達の街は自分達で良くしていかなければ、良くなりません。(深江地区まちづくり協議会〔東灘区〕・灘井会長)」「自分だけ良くなることはありません。まち全体が良くなければ自分も良くなりません。(住吉呉田まちづくりの会〔東灘区〕・堀口事務局長)」「当協議会は『行政の手先』でも無いし、『地元住民の工の代表者』でも無い。好きでやっているわけでもなく(ここ強調!)、理想に燃えているのでも無い。ただ、したくない町にしたくない!!それだけです。(美しい街岡本協議会〔東灘区〕・橋谷会長)」

条例制定から30年、住民主体のまちづくりは、各地区で生まれ、育ち、そして、受け継がれています。

神戸市まちづくり条例に基づく「協働と参画のまちづくり」の仕組みは、阪神・淡路大震災からの復興まちづくりに大いに活用され、その後も数々の地区において「まちづくり提案」や「まちづくり協定」の締結等の形で実を結んでいます。

○震災復興まちづくりへの活用

神戸市まちづくり条例が制定され、13年が経過した1995年に阪神・淡路大震災は発生しました。

神戸市では、震災からの復興を図るため、特に火災や建物の倒壊などの被害が大規模で、かつ、道路・公園など基盤整備が遅れていた地区において、地震発生から2ヶ月後の3月17日に、土地区画整理事業(124.6ha)と市街地再開発事業(25.9ha)の都市計画を決定しました。この計画決定により、復興方針が明確になり、生活再建のため、土地売却や仮設住宅等を希望される方に対して、迅速に対応することが可能になりました。

しかし、住民の方々は、避難所等での生活を余儀なくされており、2ヶ月という期間は、計画内容に対して理解を得たり、住民の意向を反映するには、十分とは言えませんでした。市長は、「住民合意のないまちづくりはあり得ない」という考えを表明し、行政が事業区域や骨格となる道路・公園など計画の大枠を決めた第1段階に続き、第2段階において、住民の皆さんとの協議による合意形成を図り、詳細な計画を決めるという「二段階都市計画」により事業を進めることとしました。

この第2段階の都市計画を進める仕組みとなったのが、震災前から取り組んできた条例による「まちづくり協議会」や「まちづくり提案」という協働と参画によるまちづくりの進め方でした。

昨年3月に完了した震災復興土地区画整理事業では、平成11年度に11地区が事業化された時点で、44のまちづくり協議会が組織され、事業完了までに117のまちづくり提案がまとまるなど、住民や専門家の皆さんの活動が、安全で安心なまちの実現の原動力になりました。

須磨区の千歳地区連合自治会(旧千歳地区連合まちづくり協議会)の埴岡会長は、「住民は一日も早く住まいと暮らしの再建を図るべく、協議会を結成し、自らの願いと思いをまとめた」と当時の状況を振り返られています。

第1回神戸市都市デザイン賞が決定しました!

神戸市では「デザイン都市・神戸」を推進する一環として、神戸らしい魅力ある景観やまちなみをまもり、そだて、つくる取り組みを進めています。この度、神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物や市民活動等を表彰するため、従来の「建築文化賞」「景観・ポイント賞」を発展させ、「神戸市都市デザイン賞」を新たに創設しました。

第1回となる今回は、市民のみなさまから推薦されたまちのデザイン部門73件、CASBEE建築部門39件の候補の中から、選考委員会の選考を経て、以下の10件が決定しましたので、ご紹介します。

まちのデザイン部門

■ 建築文化賞 (1件)

神戸国際中学校・高等学校河野記念アルモニホール (写真)



■ 景観・ポイント賞 (3件)

地chickenBarひなのや / すまづら文庫

京速コンピュータ「京」レセプタクル モニュメント「発展の塔」

■ ストック再生賞 (1件)

海外移住と文化の交流センター

■ 市民活動賞 (2件)

鉄人28号 / 元町まちなみコンテスト

CASBEE建築部門

■ CASBEE建築賞 (3件)

シスメックステクノパーク R&D タワー (写真)

アシックス本社東館

シティアンダンテ学園東町 VC-4 号地、VC-8 号地



「第1回神戸市都市デザイン賞」表彰式・記念講演会

日時: 2/12(日)15時~17時10分(受付開始14時30分)

場所: 神戸市立博物館地階講堂

お申込は神戸市まちのデザイン室 (078)322-5484まで

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

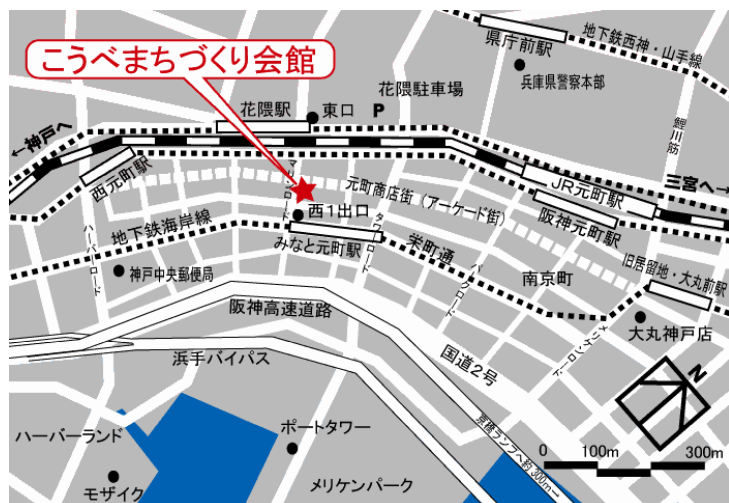
※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
1/5(木) ~ 1/24(火)	空から見た震災復興写真展	神戸市都市計画総局
1/26(木) ~ 2/14(火)	神戸建築物語	神戸市都市計画総局
2/16(木) ~ 2/28(火)	橋梁模型コンテスト受賞作品/北区フォトコンテスト入賞作品展	神戸市建設局/北区

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
1/5(木) ~ 1/10(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学 写真部
1/12(木) ~ 1/17(火)	吉岡 充 水彩画展 (播磨と神戸) <水彩・仏像等>	吉岡 充
1/20(金) ~ 1/24(火)	みなと銀行福友会会員 作品展 <油彩・水彩等>	みなと銀行福友会
1/27(金) ~ 1/31(火)	公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会
2/2(木) ~ 2/7(火)	K S C 11・12期絵画同好会 合同作品展 <油彩・水彩等>	K S C 11・12期絵画同好会
2/9(木) ~ 2/14(火)	第14回 遊遊会 水彩画展	遊遊会
2/16(木) ~ 2/21(火)	第9回 須磨火曜スケッチの会 作品展 <油彩・水彩>	須磨火曜スケッチの会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間: 午前9時30分~午後6時(水曜日休館)

場 所: 元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR-阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話: 078-361-4523 FAX: 078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付: 午前9時30分~午後5時30分(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX: 078-361-4565